

## 新規事業 東ティモール

# 遠隔集落における生業改善事業

— 女性の経済的エンパワメントと農業の多様化を通じて、貧困削減を目指す —



活動地域: エルメラ県アッサベ郡の4村内4集落  
 事業期間: 2024年3月1日~2025年2月28日(1年間)  
 事業規模: 当年度支出額23,748千円(総事業規模: およそ66,382千円)  
 主な支援者: 外務省、株式会社INPEX、一般社団法人アズビル山武財団、支援組織、個人

およそ **650**人

対象となる村落貯蓄貸付組員とその家族の人数

**2,828**人

貯水タンクの水を利用する住民の人数

**106**人

事業開始から1か月で登録された組員の数  
(うち女性64人)



### 受益者の声



© Sarah Wiles/CARE

#### オデテさん

竹など地元でとれる建材を利用し、グループで作った苗畑の前でポーズをとる一児の母であるオデテさん。農民グループの会計を担当しています。CAREの研修で帳簿の付け方を学び、ポエブソ農民グループの施設管理委員会の会計を務め、グループで得た収益を管理しています。オデテさんは、「農民グループのみんなで得た収益で、これまで栽培したことのない野菜の種を買い、苗を育てて、収穫した野菜を地元の学校に給食用の食材として販売したり、市場への販路を拡げたりなど、様々な挑戦を計画しています」と、これからの活動に期待を寄せています。

#### 課題

本事業は、左記の「農業用水改善事業」の後継事業として実施するものです。同事業の成果と残された課題を踏まえ、アッサベ郡の他集落において支援を継続します。同地域は、気候変動に伴う天候不順等に加えて、乾期の水不足が、年間を通じた農業を妨げる大きな要因となっています。また、ジェンダーの課題も深刻です。膨大な労働を必要とする水汲みや農作物への水やりは女性農民にとって大きな負担となっています。さらに、女性は農業に関わる様々な活動において、多くの役割を担っているにもかかわらず、家計についてなど重要な意思決定は男性に偏っているのが実態であり、男女間の公平な役割分担についての啓発と女性の経済的エンパワメントが急務です。加えて、遠隔農村地域である同地の人々にとっては、一般的な金融サービスへのアクセスが困難な状況であるため、貧困地域に見合った小規模な貯蓄貸付の仕組みを立ち上げることで、収穫した野菜等の加工や販売などを行う農民の起業を助け、経済的な自立へと導くことが求められています。

#### 活動内容

先行事業の「農業用水改善事業」とは別のアッサベ郡における4集落にて、1) 生業支援を行い、2) 女性の経済的エンパワメントに取り組みます。初年度にあたる本年度は、1) 生業支援において、地方政府を対象とした事業の理解促進活動を行い、事業概要説明、関係者分析、予想される課題やリスクへの対策などについて話し合い、行動計画を策定しました。さらに、4集落において、男女別のグループに分かれて、集落のハザードマップ制作のほか、集落の歴史(災害、気候の変化など)についての理解促進や、災害によるインパクト分析などを行い、今後の長期および短期の対応策と優先順位付けを行いました。また、2) 女性の経済的エンパワメントに向けて、4集落で村落貯蓄貸付組合を設立し、組員に対し、貯蓄、貸し付け、利息の計算方法、最後の配当も含めた分配の仕方など一連の流れについて研修を実施しました。加えて、農業用水設備の建設に向けて、建設資材の調達を行い、貯水タンクの建設が開始されました。